

平成 25 年度第 1 回周防大島町行政改革推進委員会会議録（要旨）

- 1 開催日時 平成 26 年 3 月 17 日（月）13 時 30 分～15 時 15 分
- 2 開催場所 周防大島町役場大島庁舎 2 階庁議室
- 3 出席者 会長 川本隆夫
副会長 奥川与志人
委員 河村 勤
委員 木村敏樹
委員 中司 孝
委員 中元みどり
委員 新山統一郎
委員 古本啓二
（欠席委員 伊藤秀行・谷 満雄）
副町長 岡村春雄
総務部長 星出 明
事務局 総務課 課長 佐々木義光
班長 永田広幸
主幹 木谷 学
- 4 議題の概要
 - (1) 第 2 次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成 25 年度取組内容及び成果報告について
 - (2) 組織機構の見直しについて
 - (3) 「お客様アンケート」について
- 5 提出資料
 - (1) 第 2 次周防大島町行政改革大綱実施計画の取組内容及び成果報告…資料 1
 - (2) 組織機構等の見直し…資料 2
 - (3) お客様アンケート…資料 3
- 6 会議経過
別紙

(会長)

それでは、第2次周防大島町行政改革大綱実施計画における平成25年度の取組内容及び成果報告について、事務局から説明を求めます。

(事務局)

平成25年度における取組内容及び成果報告について報告いたします。

－「資料1」に基づき報告－

(会長)

ただいま事務局から報告がありましたが、ご意見ご質問をお願いします。

(委員A)

「(15)体験型修学旅行誘致の推進」について、昨年度よりかなり減っていますが何か理由があったのでしょうか？

(事務局)

本事業はエージェント（旅行会社等）を介していますので、受入数の増減はあります。なお、引き続き誘致活動はしています。

(委員A)

受入側として中身を重視することは必要ですが、対応するに数的な問題がありますか？

(事務局)

平成26年度は本年度と同等数の予定ですが、春と秋の時期に集中するため対応に苦慮しています。実情は、年間4,000人以上の受入は厳しい状況です。

(委員B)

「人事評価システムの導入」については本年度も試行とのことですが、いつ頃から実施する予定ですか？

(事務局)

人事評価については、試行の段階においても対応が難しい状態です。評価する側の問題として、評価する者が変われば内容が変わる可能性があります。また、人事異動後は職務の遂行がスムーズではないことから、適正な評価できないといった問題もあります。

(委員B)

我が組織では人事評価制度を設けていますが、極端な評価をしているものについては再検証しています。

(事務局)

町が考える人事評価は上司が部下を評価するだけではなく、部下が上司を評価することも含めています。参考までにお伺いしますが、貴組織では下が上を評価する制度がありますか？

(委員B)

人事評価に関してではありませんが、異動希望を含めたトップへ直接伝達できる申告制度があります。

本件が難しい内容であることは良く分かりますが、本格的に実施しないと何も進

みません。

(委員C)

「公共料金納付窓口の拡大」について、窓口納付を拡大するに相当の経費が掛かるのであれば、方向転換をし口座振替の拡大を推進した方が良いと思います。

(委員A)

「新たな定員適正化計画の策定」の職員数ですが、現状が適正な人数と考えているのでしょうか？

(事務局)

類似団体との比較では職員数は多いですが、本町は分庁分散方式で行政運営をしており、かつ、地理的条件も小規模集落が点在しているため、本年度の人数が限界と思っています。

また、本件は平成13年の地方公務員法改正に基づき、3月議会へ再任用の条例案を上程しています。なお、県内で本条例を制定していない自治体は、本町のみです。

(委員A)

新規採用の人数に影響するのではないのでしょうか？

(事務局)

本年度は定年退職者数と新規採用者数は同数です。

なお、これまでは若い者の雇用を優先してきましたが、年金の受給年齢の引き上げに伴い再任用制度を導入すべく条例案を上程したものです。

(委員A)

管理職が今の職に留まるのですか？

(事務局)

管理職ではありません。

(委員D)

職員の配置については、適材適所を考慮し配置してほしいです。

また、再任用者については指導者的立場として頑張してほしいです。

(事務局)

再任用者があっても、新規採用者と臨時職員の数は減らさないよう考えています。この兼ね合いについては、検討事項となります。

(委員E)

新規採用者は町内の方が多いのですか？

(事務局)

町外の方が大半ですが、極力町内に住むようお願いしています。なお、昨年度は大半の者が大島へ住んでいます。

(委員F)

町外の方が周防大島町に来られることは良いことですが、町外出身者に対しての基準がありますか？

(事務局)

出身か否かによる影響はありません。

(委員A)

個人的には、大島在住者とかUターン者が採用されることが理想です。

(委員F)

「接遇の改善」について、職員の接遇面で気になることはありません。図書館に行きますが、スタッフは臨時職員ですか？

(事務局)

図書館は久賀図書館を中核施設としているので、正規職員で司書資格保有者を1名配置しています。その他の3図書館は臨時職員で対応しています。

(委員G)

「ワンテーマディスカッションの推進」はどのくらい集まりますか？ また、どのようにして開催場所等を決めているのでしょうか？

(事務局)

テーマを絞った会合のため、10～20名程度です。開催については、地域の要望に基づくものです。

(委員A)

「処分可能な町有地の売却等の促進」について、募集時にはホームページ等で周知していましたが、結果は掲載していないようですが…？

(事務局)

結果については、財政課で閲覧可能とのことです。

(委員A)

何らかの問題があるのかもしれませんが、ホームページにて周知するのであれば結果の公表もホームページへの掲載を検討してほしいです。

(委員E)

「給与の適正化」について、本年度は国家公務員に準じ削減したとのことですが、アップはないのですか？

(事務局)

国家公務員に準じ、来年度は復元させます。

(委員D)

削減ばかりでは気力が低下するので、アップさせることを考えてほしいです。

(委員A)

大島の民間企業は役場の給料と比較して設定するところが多いですが、中小企業ではベースアップは見込めません。

(委員A)

「人材育成基本方針の推進」で全国市町村国際文化研修所へ4名参加させているが、どのような研修に参加させたのですか？

(事務局)

若年者から管理職まで幅広い年齢層で参加させましたが、内容は「法制執務」や「防災」などで相当の意識アップが見られました。

(委員A)

今後も積極的に多くの職員を参加させ、学習したことについては実行に移すようにしてほしいです。

(事務局)

来年度は滞納整理関係の研修へ参加させる予定です。

(会長)

他に意見はありませんか？

－意見・質問なし－

(会長)

それでは、組織機構等の見直しについて、事務局から説明を求めます。

(事務局)

組織機構等の見直しについて説明いたします。

－「資料2」の内容について説明－

(事務局)

橘庁舎の老朽化に伴い、健康増進課及び介護保険課は平成26年度中に事務所を旧日良居中学校へ移転する予定です。なお、橘総合支所については支所機能のみの建物を新築する計画です。

(委員A)

東和総合支所は現状のままですか？

(事務局)

現状のままです。

(会長)

他に意見はありませんか？

－意見・質問なし－

(会長)

それでは、お客様アンケートについて、事務局から説明を求めます。

(事務局)

お客様アンケートについて説明いたします。

－「資料3」の内容について説明－

(会長)

意見はありませんか？

－意見・質問なし－

(会長)

その他、議題以外でも結構ですが意見はありませんか？

(委員A)

防災倉庫の位置ですが、現状よりも高台に設置した方が良いと思いますが…？

(事務局)

防災倉庫については津波のみを想定したものではなく、避難所の位置等を考慮し設置しています。

(委員F)

地域住民の移動手段であるバスについて、便数は少ないし乗客も見られません。現状は利用者が少ない状態ですが、高齢化が進むとバスを必要とする人が増えてくると思います。

このような状況のための提案ですが、平生町のように小さな車輛での乗合バスの運行を考えてみてはいかがでしょうか？

(委員A)

町内には公共施設のバスや医療機関など事業所のバスが相当数あるので、車輛を保有している関係機関の連携により、ワンコインバスのイメージで周回するようなシステムが構築できないでしょうか？

(事務局)

以前の路線バスは防長交通と中国 JR バスの2社が運行していましたが、中国 JR バスの撤退により提案のあった事柄について検討した経緯があります。しかし、調整が困難であったことから、補助金により防長交通へ運行のお願いをし現在に至っています。

(委員D)

バスのサイズを小さくしたら良いのではないのでしょうか？

(事務局)

買換えのタイミングが合えば良いですが、わざわざ買換えるのは費用対効果の面から困難と言う話を聞いています。

(委員A)

警察は高齢者から運転免許証の返納を推進しているので、高齢者の移動手段の確保が必要です。

(会長)

他に何かありませんか？

－意見・質問なし－

(会長)

長時間にわたる熱心なご審議ありがとうございました。以上で平成25年度の行政改革推進委員会を閉じます。